

連載：プロメテウスの罫

(プロメテウスの罫) 震災と皇室：9 隊員の健康気遣う

2011年3月11日 朝日新聞



震災1周年追悼式のおことば

◇No. 900

総務省 消防庁長官 の久保信保（くぼのぶやす）（61）も皇居・御所に呼ばれた。

宮内庁 からは2011年3月の震災発生後まもなく、「消防活動の概略について説明に来てほしい」との依頼を受けていた。久保が説明に訪れたのは4月25日。両陛下が 宮城県 を訪れる2日前だった。

日程が大きく遅れたのは、緊急消防援助隊が 東京電力 福島第一原発 で放水をしていたからだ。4月2日に引き揚げ

るまで目が離せなかった。

自衛隊 は国の機関。警察も警視正以上は 国家公務員 だが、消防は自治体単位での運営だ。1995年の 阪神大震災 のとき、応援がばらばらに入り、ホースの規格も合わないなどの問題が出た。

このときの反省から、緊急消防援助隊の必要性が痛感される。03年、消防組織法の改正法案が成立し、 消防庁長官 が全国の消防に出動を指示できるようになった。 東日本大震災 はその第1号となった。

久保は4月25日午後2時、 東京消防庁 の消防総監、新井雄治（あらいゆうじ）（62）とともに皇居・御所の応接室を訪れ、約1時間説明した。侍従長の川島裕（71）が同席した。

久保は、津波の避難誘導や堤防見回りをした 消防団員 から二百数十人が亡くなったと話した。両陛下は絶句し、目をうるませたようだった。

全国16万人の 消防隊員 のうち3万人が東北3県の応援に入っていた。天皇は隊員の健康を気遣った。

「被災地の アスベスト は大丈夫ですか」

原発敷地内での放水活動については、新井が説明した。

大都市の緊急消防援助隊が、使用済み燃料 プールに放水したこと。

敷地内の高い 放射線量 の中、東京消防庁 の精鋭部隊・ハイパーレスキュー隊が重いホースをかついでがれきの中を走り、ホースの経路を確保したこと――。

天皇「原発敷地に入った隊員の健康は大丈夫ですか」

久保「健康診断は国が責任を持ちます。白血病 の検査もやります」

皇后「隊員がやめられた後も、未永く気遣ってくださいね」

12年3月11日、大震災1周年の追悼式があった。天皇の言葉を、久保は感慨深く聞いた。

「死者、行方不明者の中には 消防団員 を始め、危険を顧みず、人々の救助や防災活動に従事して命を落とした多くの人々が含まれていることを忘れることができません」

(北野隆一)

*

【プロメテウス】人類に火を与えた ギリシャ 神話の神族

朝日新聞デジタルに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

Copyright © 2014 The Asahi Shimbun Company. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.